

Face

松本 航輝さん(16歳)

三ヶ尻勤九郎東在住

岩谷堂高1年生。6歳から演劇を始め、これまで町内外の市民劇に20回以上参加。ディズニー映画にも声優として参加した。趣味は映画観賞や読書、絵を描くことなど。

公演案内

ぼくらのアドベンチャーシップ
～ココロ・ワールドを救え！～

3月26日 日

中央生涯教育センター大ホール
開場 13:30 開演 14:00

入場無料

困難を乗り越えた達成感が後押し 子どもでもできることを示したい



台本を片手に出演者に演技指導を行う航輝さん

「町民劇場が終わったあと何かやりたい」。町民劇場に参加した子どもたちの声成形になり、昨年11月3日に設立された「劇団ら・ラ・RA」。メンバーは高校生以下の子どもたちで町外からも集まっている。設立の中心になり、リーダーを務めるのが航輝さんだ。

「舞台は何でもできるし、役があれば普段の自分にできないこともできる」と演劇の魅力を話す航輝さん。歌や劇が好きで、6歳の時に町民劇場の前身となる演劇講座に参加した。以来、町内外の市民劇などに20回以上出演したほか、9歳の時にはオーディションを経て、ディズニー映画「トイ・ストーリー3」の声優にも抜擢された。また、今月行われる旗揚げ公演では、役者だけでなく脚本や演出も担当するなど、活躍の場を広げている。

子ども劇団による劇の上演は一昨年末にも行った。急な配役変更や本番前日一度だけのリハーサルなどの困難もあったが、それを乗り越えた達成感が旗揚げ公演への挑戦を後押しする。

「子どもだけでどこまでできるかやってみたい」と航輝さん。演出に限らず、舞台に必要な音響や照明、セット作りなどでも、大人が行うのは最小限のサポート。公演が間近に迫る中、「どこまでできるか不安はある」。しかし、「子どもだけでもちゃんとできることを示したい。そのためにも、妥協しないでやれるところまでやりたい」と初公演への熱い思いを語っていた。

広報日記



▽発行してはホツとし、締め切りが迫っては慌てる生活。早いものでまた1年が経ちました。今年度も無茶な取材依頼などを度々しましたが、快く応じていただきありがとうございます。

▽この仕事のおかげで、普段役場の中にいるだけでは気付かないことや出会えない人を知ることができました。そこから新しい付き合いが始まりますし、取材で知り合った人を他の人に紹介する時は誇らしかったりもします。人やまちの魅力を紹介できるっていいですね。▽今年度も大変お世話になりました。今後も「広報かねがさき」をよろしくお願いします。(千田達也)

金ヶ崎町の 花鳥木

町の花
「さつき」



町の鳥
「やまどり」



町の木
「すぎ」

